

家族みんなでエコチャレンジ ～ごみについて考えよう！～

(別紙1)

1 佐賀市のごみの現状

佐賀市のごみ排出量は、平成26年度は減少しましたが、平成27年度は再度増加しました。

「1人1日当たりのごみ排出量」を見ると、全国平均及び佐賀県平均を大きく上回っており、引き続きごみの減量に取り組む必要があります。

【参考】1人1日当たりのごみ排出量
(H26年度実績)

佐賀市	1,032 g
佐賀県	886 g
全国平均	947 g



2 佐賀市のごみ減量目標

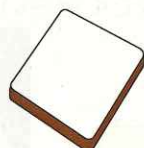
○ 家庭の目標

平成25年度比で、平成36年度までに
1人1日当たりごみ排出量について、53グラムのごみ減量

◆家庭ごみ削減目標の53gってどのくらいの重さ？



卵MSサイズ1個



食パン6枚切1枚



納豆パック1個

3 3Rとは？

- (1) リデュース (発生抑制) ⇒ごみを出さない
例) レジ袋、割り箸を断る
生ごみの水切りをする
- (2) リユース (再使用) ⇒使える物を繰り返し使う
例) マイボトルを使用し、繰り返し使う
- (3) リサイクル (再生利用) ⇒ごみを資源として再び利用する
例) 資源化できる紙は分別する



☆3Rは、リデュース、リユース、リサイクルの順番で取り組むことが大切です！

◎ お問い合わせ

佐賀市役所 循環型社会推進課 3R推進係
TEL: 30-2430 FAX: 30-2494

裏面もみてくれ！



☆ごみ減量の7ポイントアドバイス☆

(1) レジ袋について

日本では年間約305億枚（1人当たり約300枚）のレジ袋が消費されており、これを原油量に換算すると、製造から処分までに約4億2千ℓが使われていることとなります。

マイバッグ持参はちょっとした気づかいで、誰もが簡単にできるごみ減量対策です。外出時、マイバッグを持参して余分なレジ袋は断るようしましょう。



(2) 生ごみについて

現在家庭で出されるごみの約4割が生ごみであり、そのうちの大半が水分であるといわれています。そのため、生ごみの水切りを市民のみなさんをお願いしています。

※水切りのその他の効果

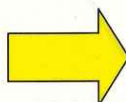
- ・生ごみが乾いていれば腐りにくく、臭いの防止にもなります。
- ・ごみの焼却過程での処理負担がへり、焼却時の二酸化炭素排出量を減らすことができます。

(3) 雑がみのリサイクル（紙袋回収）について

佐賀市では、メモ紙、レシート、封筒やはがきなど、名刺サイズ以上で形が不揃いの紙は「雑がみ」として「紙袋」にまとめて資源物の日に出すことができます。

《紙袋での出し方》

- ・紙袋に入れて、紙ひもでしばって出してください（収集時の散乱防止のため）。



《紙袋で出せる紙》

※ビニールは外し、箱は崩して下さい。

- メモ紙（名刺サイズ以上のもの）
- 封筒、手紙、はがき
- 菓子類の箱、ティッシュの箱
- コピー用紙、パンフレット、包装紙
- ラップやトイレットペーパーの芯
- レシート
- 500ml 未満の飲料用紙パック（内側がアルミでないもの。中をすすぎ、開いたもの。）
- パルプモールド（鶏卵や果物、機械等の梱包に使う紙製のクッション材）

《リサイクルできない紙》

※「燃えるごみ」で出してください。

- 汚れた紙
（使用済みティッシュ、紙おむつなど）
- においつきの紙製品
（線香や洗剤の紙箱など）
- 粘着するものが付いた紙
- 圧着加工はがき
- カーボン紙、油紙、防水加工紙、薬品加工紙
- アルミ付きの紙（ジュースや酒のパックで、内側が銀色のもの）